

遠賀川下流部に大量のゴミが堆積！！

～7月14日の大雨により流れ着いたゴミが
河川内に堆積しています。航行等に注意して下さい。



7月14日の記録的な洪水において、遠賀川流域から流れ出たゴミの一部が、河口から1k200付近（支川江川との合流点付近）に堆積しています。

航行のための安全表示（点滅灯）は設置していますが、付近を航行される場合は十分注意して下さい。

遠賀川河川事務所では、ゴミが下流～海岸に流れ出ないように現在、フェンスで囲い、固定しています。（右写真）

回収については、船等で岸までけん引し、バックホウで回収する予定でしたが、ゴミが大量（推定約500m³）であるため船でのけん引が出来ない状況です。

今後、船でけん引できる量までゴミの固まりを少しずつ崩しながら回収し、最終的には、岸にけん引しバックホウで回収する予定です。

作業は、天候等にもよりますが、1～2週間程度かかる見込みです。



ゴミ漂着状況(H22.7.21撮影)



ゴミの塊漂着箇所

また、今回の洪水において、遠賀川河口堰では、安全に洪水を流すためゲートの全開操作を実施しましたが、ゲート全開操作終了後の洪水末期に遠賀川河口堰上流に流れついたゴミが7月21日現在、推定約500m³堆積しています。遠賀川河川事務所では、ゲートの損傷や河川環境悪化の原因となるため早期に回収作業を実施する予定です。

作業は、天候によりますが、回収に1～2週間程度かかる見込みです。



河口堰上流堆積ゴミ(H22,7,21撮影)



河口堰上流堆積ゴミ近景(H22,7,21撮影)
ゴミは、自然系(草木類)と人工系(ペットボトル等)が混在しています。

遠賀川河川事務所では、6月28日出水において遠賀川河口堰上流に堆積したゴミ(約1200m³)についても回収し、現在分別、処分を実施しています。(下写真)



河川敷に回収したゴミ状況(H22,7,5撮影)

遠賀川はみんなの川です。その水は多くの方々の飲み水としても利用されています。

また、遠賀川流域ではゴミの撤去・処分に毎年多くの経費を費やしています。

今後も流域の関係機関や住民団体等と連携し、ゴミ問題に取り組んでいく考えです。

【この記者発表に関する問い合わせ先】

国土交通省 遠賀川河川事務所 管理課 TEL 0949-22-1830

課長 篠原 昌秀 係長 松本 秀一

国土交通省 遠賀川河川事務所 河口堰管理支所 TEL 093-201-1675

支所長 高野 誠二 係長 深浦 貴之

～ 発表先 ～

●直方地区

●田川地区

●飯塚地区

●北九州地区